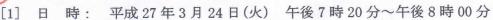
一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会



平成26年度 第2回評議員会 議事録



[2] 場 所: 東京都新宿区内藤町11番4 東京都立新宿高等学校 保護者控室

[3] 出席者: 評議員総数 10名(定足数6名)

(1) 出席者 評議員 9名 樋口 博文、小峰 和則、鎌田 邦広、高木 美紀、柴田 眞樹、寺村 仁美、今村 妙子、鈴木 仁志、佐藤 由紀夫

理事 1名 代表理事 垂水 尚志

監事 1名 松木 丈浩

(2) 同席者 1名 吉村 悟(事務局)



[4] 議 案

- (1) 平成27年度事業計画(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
- (2) 平成27年度予算(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
- (3) 規約の改訂

[5]

[5] 審議経過及び審議結果

- (1) 評議員柴田眞樹が議長となり、評議員会の開会を宣言する。
- (2) 議案(1)を別紙により提案。事務局吉村からの説明後、満場一致で承認。
- (3) 議案(2) を別紙により提案。事務局吉村からの説明後、満場一致で承認。



(4) 議案(3) を別紙により提案。事務局吉村からの説明後、満場一致で承認。



午後8時00分、議長が閉会を宣言

以上











面傾動一

(1)

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 評議員会

議長	評議員	柴	田	眞	樹
HOGE -					

代表理事 垂 水 尚 志

評議員 樋口博文

評議員 小峰 和則

評議員 鎌田 邦広

評議員 高木美紀

評議員 寺村仁美

評議員 今村 妙子

評議員 佐藤 由紀夫

評議員 鈴木仁志

監 事 松木 丈浩





















第1号議案 平成27年度事業計画

1. 賛助金増加策の設定

・低迷する賛助金寄付者の増加を図るため前年同様、財団への理解を深めてもらうための小冊 子「財団法人朝陽会のご紹介」を作成し新入時に配布する。

2. 教育活動の支援

- ・前年同様、母校の図書購入支援として10万円を贈呈する。
- ・またバラ会の活動を支援するため、前年と同じく5万円の支出を行う。

3. 館山寮の運営管理

- ・前年同様、母校の臨海教室への支援を最大限実行する。
- ・一般宿泊者数をさらに増加させるため、今年もホームページ及び同窓会報「朝陽」64号への記事掲載などにより、家族、卒業生に利用を働きかける。
- ・老朽化が進む設備の突発的故障を予防するため、向こう10年間の長期設備改善計画を設定 する。

4. 水上の土地の活用

・前年度取り壊した水上寮の跡地の有効利用方法を検討する。

5. 規約の改訂

・非営利型法人の要件を満たすため、定款の改訂を行ない内閣府に届け出る。

第2号議案 平成27年度予算

1. 当期経常増減額

- ・前年度予算に対比して今年度予算は約435万円の収支良化となる。
- ・主たる収支良化の要因は下記の通り。

水上寮の解体工事終了など

440 万円

項目	当年度予算	前年度予算	差異	
当期経常増減額	-4,451,700	-8,753,100	4,301,400	

2. 経常収益

- ・賛助会員受取会費は平成26年度実績の10%増加を見込んだ。
- ・寮使用料収入は営業努力により、平成26年度一般宿泊の10%増加を見込んだ。
- ・水上寮の解体工事が平成26年度に完了したため、今期は引当金取り崩しを計上しない。

項目	当年度予算	前年度予算 差異	
賛助会員受取会費	3,960,000	4,200,000	-240,000
寮使用料	10,412,000	9,651,000	761,000
引当金取り崩し	0	3,000,000	-3,000,000

3. 経常費用

- ・水上寮関係の旅費が無くなったため、旅費交通費が減少した。
- ・厨房換気扇の取り換えなどを行わないため、消耗什器備品費が減少した。
- ・臨海教室の安全関係消耗品が増加したため、消耗品費が増加した。
- ・水上寮解体工事が無くなったため、修理修繕費が減少した。
- ・船舶保険料を新たに予算計上したため、支払保険料は増加した。
- ・昨年は2名分の小型船舶操縦免許取得補助金を計上したが、今年は1名の予定。
- ・今年は新たに井戸浚いの費用を計上した。

項目	当年度予算	前年度予算	差異	
旅費交通費	157,040	382,300	-225,260	
消耗什器備品費	260,000	1,030,000	-770,000	
消耗品費 1,050,000		568,000	482,000	
修繕費	346,560	7,195,500	-6,848,940	
保険料	399,760	275,000	124,760	
支払助成金	155,000	291,000	-136,000	
委託費	9,741,540	9,313,000	428,540	

4. 建物付属設備

・平成27年度にポンプ1台を新規に取り換える。この為の支出は約125万円と見込まれるが、固定資産として計上し耐用年数15年の減価償却を行う。

第3号議案 定款の変更

1. 変更の理由

・非営利型法人としての要件を満たすため。

2. 条文変更

・以下の項目を追加する。

(残余財産の処分等)

第35条 この法人が精算する場合において有する残余財産は、評議員会の決議により、この法人と類似の事業を目的とする他の公益法人または国もしくは地方公共団体に贈与するものとする。

2 この法人は、剰余金の分配を行わない。

3. 変更届

・評議員会における承認後、速やかに内閣府宛に変更届出手続きを行う。

収支予算書 当年前年対比

平成27年度 対 平成26年度

		当年度予算	前年度予算	羊貝/フノナラ	() 描述 () 描述 () 四十
	全常収益	コ十尺了并	刑十及了异	差異(マイナス	は減) 増減の理由
	11 基本財産受取利息	3 20 000	20,000	200	
本基	特定資産運用益	32,200	33,000	-800	
	21 特定資産受取利息		1.000		
	受取会費	0	1,000	-1,000	
	31 賛助会員受取会費	3,960,000	4 000 000	0.40.000	All to the late of
	事業収益	3,300,000	4,200,000	-240,000	前年実績の10%増加
	41 寮使用料	10,412,000	0.651.000	704.000	
	42 館山寮改修費充当金	0,412,000	9,651,000	761,000	一般宿泊客10%增加
	43 寄付金	250,000	0	0	
	44 引当金取り崩し	250,000	250,000	0	4.1
	雑収益	0	3,000,000	-3,000,000	水上寮取壞し終了
	81 受取利息	800	0.000		
	82 雑収入		2,000	-1,200	
31.	経常収益計	5,000	6,000	-1,000	
R質量	常費用	14,660,000	17,143,000	-2,483,000	
	事業費				
	11 給料手当				
	13 旅費交通費	500,000	500,000	0	
	14 通信運搬費	157,040	382,300	-225,260	水上寮関係旅費なし
	15 減価償却費	56,000	56,000	0	
	16 消耗什器備品費	4,254,500	4,048,000	206,500	
	19 消耗品費	260,000	1,030,000	-770,000	厨房換気扇取り換えなし
	1 修繕費	1,050,000	568,000	482,000	臨海教室安全関係消耗品
	3 燃料費	346,560	7,195,500	-6,848,940	水上寮解体工事終了
	4 光水熱費	270,000	200,000	70,000	
	5 賃借料	522,000	502,000	20,000	
	6 保険料	508,000	507,000	1,000	
	7 支払負担金	399,760	275,000	124,760	船舶保険料増加
	8 支払助成金	70,000	70,000	0	
B 44 55	9 委託費	155,000	291,000	-136,000	小型船舶操縦免許取得1名
	9 維支出	9,741,540	9,313,000	428,540	井戸浚い新規計上
	4 4 人口	10,000	20,000	-10,000	
	3 委託費				
	管理費	0	93,000	-93,000	井戸浚い新規計上
	旅費交通費				
	- 通信運搬費	3,000	3,000	0	
	i 消耗什器備品費	74,800	83,800	-9,000	
	消耗品費	0	0	0	
	租税公課	0	25,000	-25,000	
- 黄樹干	華支出	36,500	36,500	0	
予備費	予備費	27,000	27,000	0	
	予備費	222.222			
	経常費用計	600,000	600,000	0	
		19,041,700	25,826,100	-6,784,400	
	税、住民税及び事業税				
	き人税、住民税及び事業税				
	法人税、住民及び事業税	70,000	70,000	0	
	経常費用計	70,000	70,000	0	
	当期経常増減額	-4,451,700	-8,753,100	-4,301,400	

収支予算書 当年前年対比

平成27年度 対 平成26年度

	平成27年度 対 平成26年度			平成27年度 対 平成26年底		
は減)増減の理由	差異(マイナス					
	009-	33,000				
			3,980,000			
				持用过程 (1)		
			250,000	公院以政业生活。		
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
				世 平 1		
高等较重安全關係用耗品 水上等條体工事終了				養温器能 機能等 1 学体統 a		
. 施施保険料増加				10 法股科 7 支出负租金 文社的唯士		
				要面文理的 無數數斯或 A was 發品簡雜計時的在		
				(AE)		
				(発表製用計 (発、性度開及び等集務 (共産業務)		